

2025 REGULATION

エビスサーキット2輪競技規定

2輪特別競技 規則書

LOVE&PEACE RACE

RIDING SPORT CUP LP-MASTERS SERIES

開催日

第1戦

5.11

第2戦

7.13

第3戦

11.2



2025 REGULATION

CONTENTS

サーキット走行に関する規則 2

ピットフルーに関する規則 5

第1章

LOVE&PEACE 開催概要 6

第2章

LOVE&PEACE RACE 特別規則 10

第3章

LOVE&PEACE 車両規則 18

第4章

LOVE&PEACE RACE 特別車両規則 26

付則..... 27

※MFJとは日本モーターサイクル協会のことを指します。

サーキット走行に関する規則

1. サーキット走行における遵守事項

サーキットを走行する際は、サーキットに定められた規則を熟知し、施設の指導員・オフィシャル・サーキットスタッフの指示に従わなければならない。

1) 優先権

- (1)サーキット走行において基本的にはレコードライン（理想的な走行ライン）を走行する者に優先権がある。
- (2)スロー走行中の者はレコードラインを走行する者を妨げてはならない。（スロー走行者とは、故障車両／ならし運転中の者／コース慣熟走行の者を言う。）スロー走行車は基本的にコースの右側（ピットロード入口側）を走行する。

2) 走行中の遵守事項

- (1)シグナル及びフラッグシグナルを確認し、その指示に従う義務がある。
- (2)不必要な急減速をしてはならない。
- (3)いかなる場合でも逆方向への走行、あるいは規定外のコースを走行してはならない。
- (4)直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止される。
- (5)他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはならない。
- (6)必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、また外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはならない。

3) 転倒・コースアウト

(1) コースアウト

- ①コースアウトしたら復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰することができるが、車両の確認（破損・オイル漏れ・砂利など）も留意しなければならない。
- ②トラブルなどで走行を止める場合は、車両をコース外の安全な場所に止めてから退去する。

(2) 転倒

- ①自分が転倒した場合、2次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させるなどの事故の増大を防止するように心がけなければならない。
- ②転倒したらまず安全な場所へ避難すること。特にオイルによる転倒は後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意すること。
- ③安全な場所から出来る限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをOFFにして火災やガス漏れを防止する。またオフィシャルと協力し

て可能な限り散乱部品を撤去すること。

- ④ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用しなければならない。
- ⑤コース内（グリーンも含む）にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止となり、他のライダーを拘束するので出来るだけ早くコース外に退場すること。
- ⑥転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす場合が多いので転倒車両を目撃したら次の周回は充分気をつけて走行すること。
- ⑦オフィシャルと協力して散乱部品の片付けを素早く行うこと。オイルやガソリンがこぼれていたら処理作業も素早く行うこと。安全上、走ってくる車両に背中とは向けない。

(3)コースへの復帰

- ①安全な場所にて車両が走行可能かどうか確認する。走行が不可能な場合はオフィシャルの指示に従い、安全な場所に移動すること。
- ②オイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイルなどの漏れがないか確認する。漏れがあった場合はコースへ復帰せず、安全な場所へ車両を移動する。
- ③走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないか確認する。
- ④カウリング内に泥、砂利、草などが入っていないかを確認し、またはタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはならない。
- ⑤後方の安全を十分に確認して余裕をもってコースに復帰する。

4) 車両トラブル

- (1)走行中に車両トラブルに見舞われた場合、レコードラインを走行するライダーの妨げにならないように注意してピットに戻ることができる。後方の安全を確認し、合図をしてからコース右側（ピットロード入口側）を走行すること。
- (2)コース上にオイルなどの液体を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合には、スロー走行でピットに戻ろうとはせずにすみやかにコースアウトして安全な場所に車両を止めなければならない。
- (3)車両は自己の責任において安全装備などサーキットにて要求される仕様をみだし、完全に整備されていなければならない。

5) ピット

- (1)ピットインする車両のライダーは、100R手前にある⑩にマーク近辺より後方を確認した後、コース右側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行った後、安全を確保しピットロードを徐行しなければならない。ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
- (2)ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権が

ある。

- (3)ピットインする車両は、自己のピットにできるだけ近い走行レーンから作業エリアに入り、ピットにできるだけ寄って停車しなければならない。
- (4)ピットロードの制限速度は40km/hとする。
- (5)ピットアウトしてコースに復帰するライダーは、ピットロードを出てS字入口に達するまではコースの右側に沿って走行しなければならない。その間後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。レコードラインの合流に際しては充分な速度まで加速しなければならない。
- 6) その他
 - (1)常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は慎まなければならない。
 - (2)走行前には、アルコール類あるいは薬品（興奮剤など）を飲用してはならない。

2. 損害に対する責任

- 1) 走行中の車両およびその付属品、安全装備が破損した場合、または走行に際して起こった負傷などは、参加者自らが責任を負うものとする。
- 2) サーキットの付帯設備を破損した場合もその責任は自己が負わなければならない。

3. サーキットのマナー

- 1) 許された場所以外での喫煙は厳禁とする。
- 2) 大会期間中ならびにスポーツ走行において産業廃棄物（タイヤ・バッテリー・カウルなど）の不法投棄は刑法で罰せられる行為となっており、禁止する。大会終了後、ならびにスポーツ走行終了後は必ず各自やチームの責任において処分すること。なお、違反した場合は当該チーム・ライダーに対してペナルティーを課す。
- 3) パドック内での不要なエンジンの空ぶかし、急発進、ブレーキテストなどを含む暴走行為を行ってはならない。
- 4) ピット及びパドック内は常に整然と保ち、使用後は必ず清掃すること。

ピットクルーに関する規則

ピットクルーはライダーを補佐し、レースを円滑に進める欠かせない重要な役割を担っている。実際にレースにおいてピットクルーとして登録し作業をする際には、下記のことには注意しなければならない。

1. ピットクルーの服装

安全上、長袖・長ズボンを着用することが望ましい。レースのピットロードやスタート時にエンジン始動を手伝う時はサンダルやヒールのある靴は避けて安全性・作業性のある服装にすること。

2. ピットクルーの立入範囲

ピット作業エリアとピットサインを出すプラットホーム、スターティンググリッドに立ち入ることができる。

3. ピットクルーの遵守事項

全てのピットクルーは自ら参加する競技に関する規則を熟知していなければならない。また安全に関する認識を持っていること。

- 1) ピットロードにおいては、ピットイン・ピットアウトの車両に充分注意すること。またはピットクルーとして登録していないゲストがピットロードに出ないように注意すること。
- 2) 火気に注意する。特に喫煙は指定の場所で行うこと。
- 3) スタート進行時はスタートが遅延しないように作業すること。時間が来たら速やかにコース外へ退去すること。
- 4) メカニックは特にブレーキ系とオイル周りの安全対策を常にチェックすること。

4. ペナルティー

ピットクルーが犯した行為に対するペナルティーは、そのピットクルーが登録されているライダーに対して科せられる。

5. レース運営への協力

ライダーが黒旗を提示された場合は、ピット側に向けてもそれを提示するので、ピットサインでもその状況を伝え早急に停止するように伝達する。特にオイルを撒いて走行しているときや部品が脱落しそうなときは他のライダーに大きな危険を及ぼすので、各自緊急時のサインを取り決めておくこと。

第 1 章 LOVE&PEACE 開催概要

第 1 条 競技会の名称

1. LOVE&PEACE RACE
2. RIDING SPORT CUP LP-MASTERS SERIES
3. LP250 クラス 50 分耐久レース

第 2 条 日程・申込期間

背表紙中面に記す。

第 3 条 主催者

エビススポーツクラブ

〒964-0088 福島県二本松市沢松倉 1 番地

TEL. 0243-24-2972 FAX. 0243-24-2936

第 4 条 開催場所

エビスサーキット 東コース

全長：2,061m

第 5 条 大会役員

大会プログラムまたは公式通知に示す。

第 6 条 開催クラス

1. LOVE&PEACE RACE
 - 1) LP- オープンクラス
 - 2) 64- オープンクラス
 - 3) LP250 クラス (LP250-S、LP250-T)
2. RIDING SPORT CUP LP-MASTERS SERIES
LP-MASTERS クラス

第 7 条 参加資格

1. LOVE&PEACE レース
 - 1) 全レース・全クラス共通
16 歳以上で自動二輪運転免許証所持者。ただし、主催者が認めた場合は、その限りではない。
18 歳未満が参加する場合は、申込書承諾書に親権者の署名と捺印（実印）とその印鑑証明書が必要となる。
 - 2) 64- オープンクラス
 - (1) 64- オープンには、東コースで予選・決勝を通して 1 分 04 秒を切ったことのないライダーが参加できる。
 - (2) 予選・決勝を通して基準タイムを切ってしまった場合には、そのレースに限っては表彰の対象とするが、以降はそのクラスへの参加は認められない。卒業という形で上のクラスへの

参加をお願いいたします。

- (3)故意に基準タイムを切らないように走行していると思われる場合や公式予選で基準タイムより明らかに速すぎるタイムを記録した場合、決勝レースは、賞典外とする場合がある。決勝レースで明らかに速すぎるタイムで走行している場合は、黒旗が提示されレースから除外もしくは失格とする場合がある。

3) LP- オープンクラス

- (1) LP- オープンクラスには、東コースで予選・決勝を通して1分01秒を切ったことのないライダーが参加できる。ただし、マシンや技術などの理由で大会事務局が判断した場合はその限りではない。
- (2)予選・決勝を通して基準タイムを切ってしまった場合には、そのレースに限っては表彰の対象とするが、以降はそのクラスへの参加は認められない。卒業という形で上のクラスへの参加をお願いいたします。
- (3)故意に基準タイムを切らないように走行していると思われる場合や基準タイムより明らかに速すぎるタイムで走行している場合は、黒旗が提示されレースから除外もしくは失格とする場合がある。

2. RIDING SPORT CUP LP-MASTERS SERIES

1) LP-MASTERS

- (1) LP- オープンクラスを卒業したライダー（1分01秒より速い者）が参加できる。
- (2)主催者が(1)と同等、もしくはそれ以上と判断したライダーは主催者推薦で参加が認められる。

3. LP250クラス50分耐久レース

タイムによる制限はないが、遅すぎて危険と判断されたライダーは、レースから除外される。

第8条 参加申込

1. 現金書留にて申込する場合

出場申込用紙に必要事項を記入のうえ、参加料金を添えて現金書留にて郵送、または直接サーキット事務所に持参すること。その際、誓約書をよく読み理解したうえで署名捺印をすること。

2. WEB エントリーする場合

エントリーページにアクセスし、必要事項を入力する。お支払いは、クレジットカード払い、もしくはコンビニ払いとなる。後日、郵送する誓約書をよく読み理解したうえで署名捺印して当日持参すること。

3. メール・電話・FAX での受付は行わない。

4. 年間エントリーについて

- 1) 年間エントリーの申込期間は第1戦と同じとする。
- 2) レースに欠場する場合でも返金は行わない。
5. 参加受理書は、開催日の1週間前に郵送する。

第9条 参加料金

すべての参加料金には保険料が含まれている。

1. ESC 会員

- 1) 1戦・・・14,000円
- 2) 年間エントリー・・・39,000円(申込4/11(金)～4/25(金))
- 3) LP250 50分耐久追加ライダー・・・3,000円

2. 非会員（一般）

- 1) 1戦・・・16,000円
- 2) 年間エントリー・・・45,000円(申込4/11(金)～4/25(金))
- 3) LP250 50分耐久追加ライダー・・・5,000円

第10条 ピットクルー

1. レース参加者はピットクルーを申請することができる。
2. 登録されたピットクルーには、参加受理書と一緒に通行パスを郵送で発送する。
3. エントリー受理後の追加申請はできない。
4. ピットクルーは4名まで登録できる。
5. MFJ ライセンスの有無は問わないが16才以上であること。

第11条 参加受理書

1. 必要事項を記入した出場申込書と参加料金を大会事務局が受理した者に対し、参加受理書が送付される。
2. 一旦受理された参加料・保険料は下記の3. の場合を除き、いかなる理由があっても返金しない。
3. 大会が取りやめになった場合、次の条件に従って参加料金と保険料が返金される。または参加申請が拒否された場合も参加料金と保険料が返金される。

事例	出場料	保険料
予選が1回も行われず中止	受付した全員に返金	保険適用となる練習走行が行われていなければ返金
予選は行われ、決勝グリッド発表後中止	決勝進出者に返金	返金しない
決勝スタートが行われたのち中止	返金しない	返金しない

第12条 車両変更・ライダー変更

1. ライダー変更は、開催日の2日前（金曜日）のPM12:00までとする。
2. 車両の変更は、車検終了時間までとする。
3. ライダー変更・車両変更の両方は認められない。

変更事項	変更終了時間	手数料
ライダー変更	金曜日 PM12:00 まで	5,000 円（1 名）
車両変更	車検終了時間まで	5,000 円（1 台）

第13条 装備

1. レーシングスーツ

- 1) レーシングスーツは革もしくは同等の素材であること。
- 2) MFJ公認のものが望ましい。MFJが公認したレーシングスーツにはMFJ公認マークが貼付されている。

*レーシングスーツMFJ公認マークの見本はPage30参照。

- 3) スーツはワンピースもしくはウエストでつながるジッパータイプ。破れやほつれがあり、安全を確保できないものは使用できない。
2. ヘルメット
 - 1) ヘルメットは、フルフェイス型であること。
 - 2) MFJ公認のものが望ましい。MFJが公認したヘルメットはMFJの公認マークが貼付されている。
*ヘルメットMFJ公認マークの見本はPage30参照。
3. ヘルメットリムーバー
転倒時の迅速なレスキュー並びに自己の安全のためにもヘルメットをスムーズに脱がすヘルメットリムーバーを着用しなければならない。
4. グローブ・ブーツ
革もしくは同等の素材であり、フックなどが外部につきだしていないものでなければならない。破れやほつれがあり、安全を確保できないものであってはならない。
5. 脊椎パッド・チェストプロテクター
脊椎を保護する背負い式タイプのプロテクター、胸部を保護するプロテクションの装着を義務づける。胸部プロテクションは衝撃緩衝効果のある素材で心臓や肺への衝撃を緩衝する形状でなければならない。
6. その他
エアバックベスト並びにエアバック機能付きレーシングスーツの使用を強く推奨する。

第14条 燃料・冷却水

1. ガソリンはサーキット内で販売されているものを使用すること。
2. ガソリンの持込は認めない。保管は20リットル以下の携行缶とする。
3. エビスサーキット内で販売されるガソリンの仕様は表1の通りである。

表1：ガソリン性状表

銘柄	エネオスヴィーゴ
鉛含有料	0
モーターオクタン価	87.2
密度 (15℃)	0.7492g / l
ベンゼル含有量	0.10%

4. 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物（レース用として一般使用されている冷却水）に限る。ただし、不凍液が含まれる冷却水は使用することができない。

第15条 医療施設の利用義務

1. 負傷した際には始めに施設の医務室で診断を受け、事故報告書を記載する。レース当日以外はサーキット事務所で手当と事故報

告書の記載を行う。

2. 事故報告書の提出がないと保険が適用されないので必ず提出すること。
3. サーキット応需病院
柵記念病院 福島県二本松市住吉 100 TEL：0243-22-3100

第16条 主催者の権限

主催者は次の権限を有するものとする。

1. 参加申込の受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピット要員を選択、あるいは参加を拒否することができる。
2. チーム名が公序良俗に反する場合は、公式プログラム・結果表への記載の拒否または変更を命じることができる。
3. すべての参加者・ライダー・ピット要員の肖像権および参加車両の音声・写真・映像など、報道・放送・放映・出版に関する権限を有し、この権限を第3者に使用することに許可できる。
4. 公序良俗に反する言動がある参加者に対しては選手受付後であっても参加を拒否することができる。

第17条 公式通知及びタイムスケジュール

1. 本規則に記載されていない競技運営に関する実地細則やタイムスケジュール、参加者への指示事項は公式通知によって示す。
2. 公式通知は申込締切後に発表され、受理書と共に参加者に送付されるか、開催期間中に掲示板に提示される。

第2章 LOVE&PEACE RACE 特別規則

第1条 ピット・パドックの使用

1. レース当日の使用ピットは大会事務局により割り当てられる。
2. 割り当てられたピットを参加者相互で交換・変更する場合は双方の話し合い上で変更し、使用すること。
3. ピット裏パドックなど使用制限はないが、常識とモラルの範囲内で使用すること。
4. パドック及びピットの使用時間は午後6時までとし、保安上午午後7時までには退園すること。ただし、公式通知にて使用時間を定めた場合はそれに従うものとする。
5. ピット内でタバコなどの火気を取り扱わないこと。
6. 使用後は責任をもって清掃すること。

第2条 フリー走行

1. 前日特別スポーツ走行（有料）

大会前日に行われる特別フリー走行はレースエントリー者であればESC ライセンスの有無を問わず走行は可能。走行時間・料金は公式通知に示す。

2. 当日フリー走行（無料）

当日予選前に練習走行がある場合はエントリーしている者なら無料で走行することができる。

第3条 選手受付

1. 受付時間・受付場所はタイムスケジュールに示す。
2. 受付には本人または代理人が下記のものを持参しなければならない。
 - 1) 参加受理書
 - 2) 車両仕様書

＊万が一、怪我をした場合に備え健康保険証も各自持参すること。

第4条 車両検査

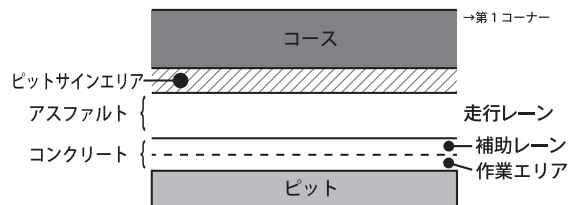
1. 参加車両の公式車検検査およびライダーの装備品検査は公式通知に示されたタイムスケジュールに従って車検場で行う。
2. 車検場には受付完了印のある車両仕様書を持参し、アンダーカウルを外した形で車両を持ち込み、アンダーカウルも持参しなければならない。
3. 車両は確実性・トラブルの早期発見のため整備・清掃した状態で持ち込むこと。

第5条 ブリーフィング

ブリーフィング（競技に関する説明）を行う場合、ライダー本人が出席しなければならない。欠席した場合は失格までの罰則が科せられる場合がある。

第6条 ピットインおよびピットアウト

1. 大会期間中を通してピットロードのスピード制限は 40km/h とする。
2. ピットインする車両は、安全を確認して 100R にある㊦マークの近辺でコース右側に車両を寄せ、ピットロードに進入しなければならない。
3. ピットガレージの前の部分は次の2つ「走行レーン」と「作業エリア」に区分される。
4. 走行レーンおよび補助レーンにピットクルーが立ち止まったり、車両を停めたりすることは禁止する。



5. ピットロード出口 シグナルライトについて

- 1) スポーツ走行・予選・決勝を通じて「レッドライト」が点灯しているときは、コースインしてはならず、「グリーンライト」が点灯しているときのみ、コースインすることができる。
- 2) ピットアウトしてコースインするライダーは、第1コーナーを通過してS字入口付近までコーナーの右側ラインに沿って走行しなければならない、その間後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。

第7条 予選

1. 予選時間は、タイムスケジュールに示される。
2. タイムトライアル方式で行う。
3. フリー走行と予選を続けて行う場合がある。その場合、予選計測開始の合図はフラッグタワーにて緑旗を振動表示する。
4. 予選において測定される各ライダーのベストラップタイムによりスタート位置を決定する。
5. 予選タイムにおいて2名以上のライダーが同一のラップタイムを記録した場合は、先にそのタイムを記録したライダーが優先され順位が決定する。

第8条 決勝レース

1. 競技周回数

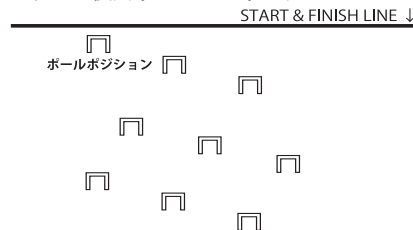
クラス	周回数	クラス	周回数
LP-MASTERS	15 周	LP- オープン	13 周
64- オープン	10 周	LP250	10 周

2. スタート前チェック

- 1) スタート方法は、クラッチスタートとする。
- 2) スタート前チェックの時間帯はタイムスケジュールに示され、時間内に受けること。やむを得ない理由で受けられない時は、その旨を届け出て時間外チェックの許可を得ること。届け出を出さない者はオフィシャルの判断によりリタイヤとみなされる。
- 3) スタート前チェックを終了した車両は、自己のピットまたはオフィシャルの案内があった場合はピット出口にて待機すること。
- 4) スタート前チェックを終了した車両は、ピット、ガレージ及びパドックに車両を戻すことはできない。ただし、オフィシャルの許可または指示があった場合はこの限りではない。

3. スタート方法

- 1) 列は、3台とし、3-3-3・・・と配列される。
- 2) ボールポジションは左側とする。
- 3) 階段状グリッドを使用するものとする。



4. スタート進行

- 1) スタート進行は、天候を含む大会開催状況により省略や変更される場合がある。
- 2) ウォームアップラップ 20 分前
ライダーはスタート前チェックを受けマシンとともに待機する。
- 3) ウォームアップラップ 15 分前
サイティングラップのためにピットロード出口が開放される。
- 4) ウォームアップラップ 10 分前
レッドシグナル点灯でピットロード出口が閉鎖される。サイティングラップは義務づけられない。サイティングラップに参加しないライダーはウォームアップラップ開始の 5 分前までにオフィシャルの指示に従ってマシンを押してグリッドにつけることができる。
- 5) ウォームアップラップ開始まで
サイティングラップの開始後グリッドとピットにおいては、余熱以外のタイヤウォーマーの使用は禁止される。グリッド上での給油も禁止される。
- 6) ウォームアップラップ 5 分前
グリッド前方で 5 分前のボードが提示される。この時点でグリッドについていない車両は、ピットレーンよりウォームアップラップを開始しなければならない。
- 7) ウォームアップラップ 3 分前
グリッド前方で 3 分前のボードが提示される。
すべての調整は「3 分前」のボードが出る前に完了しなければならない。この時点でライダー 1 名につき 1 名のメカニックとそのライダーのために傘を持って立つ 1 名、主催者の認めるプレス関係者、および必要なオフィシャル以外の人間は全員グリッドから退去しなければならない。タイヤウォーマーは取り外さなければならない。
- 8) ウォームアップラップ 1 分前
グリッド前方で 1 分前のボードが提示される。エンジンスタートのボードが提示され、エンジンを始動させる。この時点でライダー 1 名につき 1 名のメカニック以外の全員がグリッドから退去する。このメカニックはライダーが押しがけするのを助け、その後速やかにグリッドから退去する。
- 9) ウォームアップラップ 30 秒前
グリッド前方で 30 秒前のボードが提示される。
全ライダーはエンジンが始動している状態でグリッドの所定の位置に着かなくてはならない。これ以降メカニックの援助は禁止される。マシンをスタート出来ないライダーはマシンをピットレーンに移動し、そこでさらにマシンが始動するように試みることができる。このようなライダーはピットレーンからウォームアップを開始しなければならない。
- 10) ウォームアップラップ開始
ウォームアップラップの開始を示すためにイエローライトが点滅される。ライダーは係員の指示に従ってスタートし、1 周走行する。ウォームアップラップの開始時は、すみやかにスタートしなければならない。グリッドに戻ってきたライダーはエンジンを始動させたままフロントタイヤの先端をグリッドラインの手前につけなければならない。

11) スタート

レッドライトが 2 ～ 5 秒点灯され、そのレッドライトが消灯された時点でスタートとなる。

12) スタートディレイド

スタート時の安全性を脅かすようなトラブルが発生した場合、スタートを受け持つオフィシャルがレッドライトを点滅させ「スタートディレイド」のボードを提示する。オフィシャルから指示がある場合を除き、エンジンは止めずにグリッドにて待機する。スタート手順は「30 秒前」ボードの段階から再開され、ライダーは追加のウォームアップを 1 周走行し、レース周回数は 1 周減算される。スタートディレイドの原因となったライダーは、グリッド後方またはピットスタートとする。

第 9 条 レースの中断

1. 競技の続行が不可能と判断された場合、赤旗提示により競技を中断する場合がある。
2. コース上の車両は速やかに危険を回避できる速度に落とし、自己のピットに戻らなければならない。また赤旗が提示された時点でピットの作業は中断し、オフィシャルの指示があるまで禁止される。
3. 中断後のレース再開は次のように定める。
 - 1) 赤旗表示時点で「6. 順位の設定1)(1)」のトラック上を走行する全ての車両が 1 周終了していない場合は、最初のスタートはなかったものとし、スタートをやり直す。
 - 2) 1) 以外の場合はレースディレクターまたは競技監督の決定によって次の通りとする。
 - (1) ヒートレースとして再スタートをする。この場合、ヒートの数は定めない。
 - (2) レースは終了とし、再スタートを行わない場合コントロールラインではチェッカーフラッグも併用して表示される。
 - 3) 1) 2) の場合において再スタート後の周回数やレース時間は短縮される場合がある。
4. 再スタートの出走条件
 - 1) スタートがやり直される場合は、全てのライダーが出走できる。
 - 2) ヒートレースとなった場合、自力でピットに戻ったライダーが再スタートすることができる。
 - 3) 安全上、再車検及び健康診断を受ける指示があった場合は、合格しなければ出走できない。
5. 再スタートの方法
 - 1) クイックスタートスタート方式とする。
 - (1) サイティングラップを行う。
 - (2) グリッドについた車両は、エンジンを止めない。
 - (3) 全車がグリッドにつくとウォームアップラップ「30 秒前」ボードが表示される。
 - 2) スタートがやり直される場合は原則としてクラッチスタートとする。
 - 3) ヒートレースとなった場合は次のいずれかとする。
 - (1) クラッチスタート
 - (2) ローリングスタート
 - (3) セーフティカースタート
 - 4) 再スタートのスターティンググリッドは次のいずれかとする。
 - (1) 中断された直前までの順位
 - (2) 直前のヒートの順位 (3 ヒート以降の場合)

- (3)中断された時点のコントロールライン通過順
 - (4)予選結果
 - (5)その他、レースディレクターまたは競技監督の決定による。
6. 順位の決定
- 1)再スタートを行わない場合
 - (1)赤旗が表示された時点でコース上を走行している全ての競技者がレース状態でコントロールラインを通過した時の計時結果に基づき、周回数の多い者が上位となる。
 - (2)周回数が同じ場合は、コントロールライン通過順とする。
 - 2)多数のヒートに分かれてレースが行われた場合
 - (1)各ヒートの走行周回数を合算し、周回数の多い者が上位となる。
 - (2)周回数が同じ場合は、最終ヒートのコントロールライン通過順とする。

第 10 条 ジャンプスタートのペナルティー

- スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから移動した場合は下記のいずれかのペナルティーが科せられる。
- 1. 競技結果への 30 秒加算
 - 2. ストップ&ゴーペナルティー
 - 1)所定の場所での一旦停止
 - 2)当該ライダーに「STOP」の文字下に車両ナンバーを付した一体型ボード（ペナルティーストップボード）をコントロールラインで提示する。
 - 3)3 回目の提示を受けた周にピットインせずペナルティーを実行しない場合は失格までの罰則が科せられる。
 - 4)同時に複数の違反が発生した場合には原則的に一台ごとと停止させる。停止の順番は予選タイムによる。ボードは複数同時に提示する場合もある。

第 11 条 レース終了

- 1. トップのライダーが定められた周回数を終了した時点でトップのライダーにチェッカーフラッグが提示される。チェッカーフラッグは、引き続き 2 分間提示される。その時間経過をもってレース終了となる。
- 2. チェッカーフラッグは、フラッグタワーにて提示される。
- 3. トップライダーがフィニッシュラインに近づいた際、直前に他のライダーがいる場合、チェッカーフラッグと青旗を振動表示する。青旗を表示されたライダーは、フィニッシュライン手前でトップライダーに追い抜かれた場合を除き、もう一周してチェッカーフラッグを受けること。抜かれたか判断できない場合はもう 1 周すること。
- 4. トップライダーが所定の周回数（時間）を完了する前にチェッカーフラッグが提示された場合、その時点をもってレースは終了したものとする。チェッカーフラッグ提示が遅れた場合、所定の周回数（時間）が終了した時点でレースは終了したものとする。
- 5. チェッカーフラッグを受けた際、急激な減速や必要のない進路変更は禁止する。原則として 1 コーナーまではレーシングスピードを保ち以降は徐々にスピードを落とすこと。

第 12 条 順位の決定

- 1. フィニッシュラインを通過した完走者で定められた周回数を短時間で走行したものを上位とする。
 - *完走者とは、優勝者の周回数 75% 以上（小数点以下切り捨て）を走行かつコース上でチェッカーフラッグを受けたものとする。
 - *チェッカーフラッグ提示時、ピットロードのフィニッシュライン通過は、周回数はカウントされるが、チェッカーフラッグを受けたとはみなさない。
- 2. 以下、未完走者で周回数の多いものを上位とし、同周回数の場合は、フィニッシュ/コントロールライン通過順とする。
- 3. 赤旗による順位の決定は第 9 条による。

第 13 条 参加者の遵守事項

- 1. 全ての参加者は、競技期間中は競技規則及び競技役員の指示に従わなければならない。
- 2. 全ての参加者は、主催者・競技役員・大会関係者の名誉を傷つけるような言動をしてはならない。
- 3. すべての参加者は、自分の言動について責任を持たなければならない。

第 14 条 走行中の遵守事項

- 1. 走行中コース上にオイル等の液体を撒き散らす恐れのあるようなトラブルが発生した場合には、そのライダーはピットまで無理に戻ろうとはせずにコースアウトし、安全な場所に車両を止めること。
- 2. 1. のトラブルにより本人および他のライダーにも重大な危険を及ぼす恐れがあると判断された場合は、フラッグタワーでオレンジボウルフラッグ（黒地にオレンジの丸）を提示する場合がある。これを提示されたライダーは速やかに車両をコース上から退去し安全な場所に止めること。この旗は各ポストにおいても提示される場合がある。これに従わない場合は最低 10,000 円以上の罰金または失格の罰則が科せられる。
- 3. 「サーキット走行に関する規則」（P2～P4）を遵守すること。
- 4. ピットロードの制限速度は 40km/h 以下とする。

第 15 条 LP-MASTERS クラスの特記事項

- 1.LP-MASTERS クラス決勝出走台数は 25 台とする。
- 2.LP-MASTERS クラスはスーパーポール予選を行う場合がある。
 - 1)スーパーポール予選（以下 S P 予選）に参加できるのは、S P 予選前に行われる計時予選結果上位 6 名とする。
 - 2)6 名にて決勝レースの上位 6 位のグリッドを決定する。
 - 3)計時予選 6 位のライダーよりスタート位置につきオールラインの合図でコースインする。コースインしてコントロールラインを通過した時点から計測が開始され、次にコントロールラインを通過するまでのタイムで順位を決定する。
 - 4) S P 予選中に天候・その他の理由で全員がイコールコンディションにならなかった場合（例えば計時予選結果の方が良かった場合でも）でも S P 予選の結果が有効となる。

- 5) 天候やマシントラブル、その他の理由で S P 予選を走行することが出来なかった場合は、計時予選の結果を元に順位を決定するが S P 予選を走行したライダーよりは下位の順位となる。
- 6) 事情により S P 予選を走行することができない場合は、自分の順番までにオフィシャルに申告すること。
- 7) 天候不良などの理由により SP 予選が行われなかった場合は、その前に行われた計時予選の結果でグリッドを決定する。
3. シリーズによって得た得点の合計により最高得点者をシリーズチャンピオンとする。(P27 RIDING SPORT CUP LP-MASTERS SERIES ランキング規定参照)

第 16 条 LP250 50 分耐久の特記事項

1. ブリーフィングは、ライダー全員が出席しなければならない。
2. ブリーフィング終了時にスタートライダーの変更を受け付ける。
3. 決勝レース時間は、50 分間とする。
4. レース終了時間は、スタート時間の 50 分後とする。
5. 登録された T カーを除き、義務付けされたサイティングラップまたはウォームアップ走行をした車両のみ参加できる。
* T カーの使用は、①車検に合格していること ②スタート車両が自力でピットに戻ってきたことを条件に認める。
* T カーへ計測器の乗せ換えを行うこと。
6. レースに参加する車両は、スターター装置が装着していること。
7. レース中に給油する場合は、エンジンを停止しスタンドを立て、いかなる作業も一緒には行えない。乗車したままの給油はできない。
8. 給油員は、ゴーグルまたはフルフェイス型ヘルメットを被り、長袖・長ズボンで給油すること。
9. ペナルティー

T カー使用	5 周減算
ウォーミングアップ走行不出走	3 周減算

10. レース中、全チーム 1 度はピットインして自己のピットの前で停止すること。
11. 順位の決定
 - 1) 順位の決定は、フィニッシュラインを通過した完走者で規定時間に走行した周回数の多いライダー／チームを上位とする。同周回数の場合は、フィニッシュ／コントロールライン通過順とする。
* チェッカーフラッグ提示後、ピットロードのフィニッシュライン通過は、周回数はカウントされるが、チェッカーフラッグを受けたものとはみなさない。
 - 2) 以下、未完走者で周回数の多いものを上位とし、同周回数の場合は、コントロールライン通過順とする。
 - 3) 赤旗による順位の決定は第 9 条による。
12. 完走者の定義は、コース上でチェッカーを受けたライダー／チームとする。周回数は、規定しない。

第 17 条 セーフティカー導入手順について

1. レースを停止（赤旗）するほどではないが、現場処理を黄旗だけでは安全確保できない場合にはセーフティカーを使用して一時非競技化する場合がある。
2. フラッグタワーおよび全てのオブザベーションポストにおいて「SC ボード」と「黄旗」を表示する。
3. ライダーは追い越し禁止、セーフティカー先導走行に備える。
4. セーフティカーは原則としてレースリーダーの直前に入るが、安全運営上レースリーダーの位置に関係なくコースインする場合がある。この際、セーフティカーとレースリーダーの間の車両に対しセーフティカーを追い抜く合図を出す。セーフティカーを追い抜いた車両はマシンを充分コントロールできる速度で隊列の後方へつくこと。セーフティカーとレースリーダーの間に複数台いる場合は、セーフティカーを追い抜くことを許可する合図を出す場合がある。その際は合図毎に 1 台ずつセーフティカーを抜くこと。
5. 原則として全車（ピットイン車両を除く）がセーフティカーの後方へ追従するまで走行を続ける。
6. セーフティカーがトラックから離れる際は、追従する車両が確認できるところで回転灯を消灯する。
7. セーフティカーがトラックから離れた時点で全てのオブザベーションポストにおいて「緑旗」を振動表示される。
8. 再スタートの後、各自がコントロールラインを通過するまで追い抜きは禁止される。
9. セーフティカー導入中にはピットに戻ることができる。ただし、トラックに復帰する際にはピットロード出口の信号灯が「レッドライト」消灯またはオフィシャルの指示があったときだけコースインができる。この際に発生するハンデキャップ（不利益）は一切考慮されない。

第 18 条 レースの賞典

1. 賞の制限

参加台数	1～3 台	4～5 台	6～7 台	8～9 台	10～11 台	12 台以上
賞 典	1 位のみ	2 位まで	3 位まで	4 位まで	5 位まで	6 位まで

2. 完走賞

入賞できなかったライダーに表彰式終了後に授与する。

3. 卒業証書

基準タイムのあるクラスにおいてそのタイムをクリアしたライダー全員に表彰式において卒業証書を授与する。

第 3 章 LOVE&PEACE 車両規則

第 1 条 基本仕様

1. 排気量

2st 125cc 以上 4st 250cc 以上の市販車両でオンロードバイクタイプ装着車。

2. ブレーキ

車両は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

3. リムおよびホイール

ホイールリムサイズが 16 インチ以上の車両とする。

4. ハンドルバー

- 1) ハンドルの端から端までの幅は 450mm 以上でなければならない。
- 2) ハンドルの回転角度は左右それぞれ 15° 以上なくてはならない。

5. ハンドルバーのクリアランス

- 1) グリップ部およびレバーとカウリングとのクリアランスは 20cm あること。
- 2) ハンドルは左右いっばいに切ったときライダーの指を挟まないように、ハンドルバーと燃料タンクのクリアランスは 30mm 以上あること。

6. スロットルコントロール

スロットルコントロールは手を離すと戻る方式でなければならない。

7. クラッチおよびブレーキレバー

クラッチおよびブレーキレバーの末端は直径 19mm 以上の球状で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。このボールを平たくすることも認められているが、いかなる場合においてもその端部に丸みを持たせることが必要である。

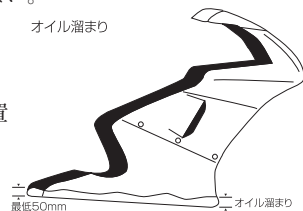
8. フットレストおよびペダル

- 1) フットレストの先端は安全上半径 8mm 以上に丸められていなければならない。
- 2) ペダルの先端は安全上丸められていなければならない。

9. カウリング

カウリングを使用する場合は次の条件を備えたものでなければならない。

- 1) タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。
- 2) 前輪の車軸を通る垂線の 50cm 前方から後輪の垂線の間になければならない。
- 3) カウリングの下線と地面との間隔は荷重のかかった状態で 100mm 以上なければならない。
- 4) ライダーの顔面またはそのヘルメットとカウリング（ウインドスクリーンを含む）との間には最小限スペースは 100mm とする。
- 5) 後方に面しているカウリングすべての部分はその端部を少なくとも 35mm の球状にしなければならない。後方に面しているウインドスクリーンの端部にはガードを施して切り傷を負う恐れのないようにしなければならない。
- 6) エアフォイルまたはスポイラーは、
オイル溜まり
それらがフェアリングまたはシート
の不可欠部分である場合に限り、取
り付けることができる。これらの装置



の幅はフェアリングの幅をオーバーしてはならずまたその高さはハンドルの高さをオーバーしてはならない。

- 7) 上記の適応を避けるために透明な物質を使用することはできない。

8) 後輪の可視範囲

後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周 180 度に渡って明瞭に見えなければならない。

- 9) アンダーカウルはすべての車両に取付を義務づける。

- (1) エンジンオイルとクーラント容量の最低半分を保持できる構造になっていなくてはならない。
- (2) フェアリング下部の端部は一番低いところから 50mm の高さまででなければならない。ただし、2 サイクル車両はそれ以下でも可能だがオイルが貯まる構造になっていること。
- (3) カウリング下部の内側にはオイルを吸収する難燃性の素材を装着することが望ましい。
- (4) この規則を満足させるために最低限の外観変更が許可される。
- (5) ロワーカウル下部には、直径 20mm（許容誤差 +5mm）の水抜き用の孔を最小 1 個は設けなければならない。ただし孔は 2 個までとする。この孔はドライコンディションの時には閉じられ、競技監督がウエットレースを宣言した場合、開けなければならない。
- (6) 破損したカウリングは FRP 補修が望ましいがレース当日の転倒などの場合はアルミテープで十分な強度でオイルなどが漏れないように補修されていること。車検において補修が不十分と判断された場合の走行は認めない。

目的：エンジンの破損または故障時にそのエンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジンクーラントをトラックに漏らさないように、フェアリング下部をオイル受けとする。オイルなどが自車のリアタイヤに付着、後続車がこれらの上を走行した場合、大きな事故につながる事が考えられますので協力をお願いいたします。

10. フェンダー

フロントフェンダーは取り付けしていなければならない。カウリング使用の場合は取り外しを可能とする。

11. プロテクティブ・コーン

- 1) 転倒時に車両のダメージを最小限に抑えるためにフレームにプロテクティブ・コーンの取付を強く推奨する。
- 2) プロテクティブ・コーンを取り付けた場合、プロテクティブ・コーンの突き出し量はフェアリングの表面から 20mm 以上突き出ししてはならない。またプロテクティブ・コーンの R は 10 R 以上とする。

12. リアスプロケットガード

- 1) リアスプロケットガードを全ての車両に取付を義務とする。
- 2) チェーンとリアスプロケットの間に身体の一部が誤って挟まれることのないようにリアスプロケットガードを取り付けなくてはならない。このガードはスプロケットとドライブチェーンの噛合部をカバーすること。
- 3) その材質は、アルミニウム、頑強なプラスチックまたは樹脂とし、その取付方式はスイングアームにボルトオンまたは溶接し、容易に

脱落したりしないよう確実に固定しなければならない。リアスプロケットガードの板厚は最低2mm なければならない。

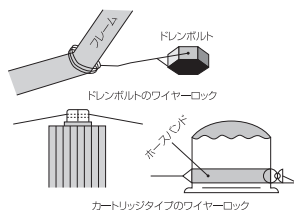


4) 形状はチェーンとスプロケットの間にライダーの手足が巻き込まれないという目的にかんたったもので、かつシャープエッジでないこと。

5) スイングアームの補強とリアスプロケットガードを兼ねることは認められる。

13. オイルドレーンプラグと供給パイプ
エンジンまわりのオイルドレーンプラグは確実に締め、ボルトは安全のためワイヤーロックをしなければならない。カートリッジタイプのオイルフィルターはワイヤーロックをしなければならない。(例：クランクケース、オイルライン、オイルクーラーなど)

ワイヤーロック



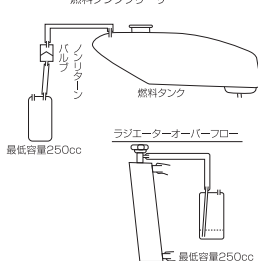
14. 燃料タンクフェラーキャップ

燃料タンクフェラーキャップは閉じた状態でもれる恐れがあるてはならない。さらにいかなる場合においても誤って開くことがないように完全にロックされていなければならない。

15. 燃料タンクブリーザーパイプ

燃料タンクブリーザーパイプを取り付ける場合は、ノンリターンバルブを燃料タンクブリーザーパイプに取り付けなければならない。これらは適切な材質の最小限容量 250cc 以上キャッチタンクに放出されるようになっていなくてはならない。

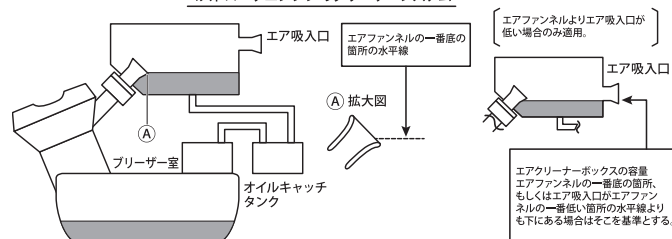
燃料タンクブリーザー



16. オイルキャッチタンク

- 1) オイルブリーザーラインは、エアクリナーボックスまたはエアクリナーボックスおよびキャッチタンクに連結され、これに排出される構造となっていること。
- 2) エアクリナーボックスが 1000cc 以上のオイル受け容量を確保出来ない場合、適切な材質でできたオイルキャッチタンクを取り付けることとし、合計で 1000cc 以上を確保していなければならない (エアクリナーボックスが単体で 1000cc 以上確保できる場合はオイルキャッチタンクの装着は免除される。)
- 3) エアクリナーボックスおよびキャッチタンクは競技前に空にしなければならない。

4ストロークエンジンのブリーザーシステム



17. 燃料タンク

燃料は車両にしっかりと固定されたタンク内に収めるものとする。シート・タンクおよび補助タンクの使用は禁止されている。

18. シリンダー

シリンダーのキャスティング（鋳造）を変更することなくボアを拡大することができる。

19. エンジンケースの 2 次カバー

転倒時に地面と接触する恐れのあるオイルを保持する全てのエンジンケースカバーは、複合素材（カーボンまたはケブラー製）の 2 次カバーによって保護されていることを強く推奨する。



20. 取り外さなければならないもの

- 1) バックミラー
- 2) ナンバープレート
- 3) セーフティーバー
- 4) センタースタンド・サイドスタンド
- 5) 同乗者用フットレスト
- 6) グラブレース
- 7) その他（車検時に取り外しを指示されたもの）

21. 取り付けなければならないもの

- 1) レース用ゼッケンプレート
 - (1) フロントとシートカウルの両サイドまたはシートカウルの上部にゼッケンナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に認識できるようにしなければならない。
 - (2) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法はフロントが幅 275mm × 高さ 200mm、サイドは幅 205mm × 高さ 170mm とする。また別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーマたはフェアリング両サイドに同寸法のスペースでペイントするか固定してもよい。
 - (3) 文字は見やすい色や字体にすること。蛍光色や飾り文字は禁止する。
 - (4) サポートナンバー
全車両はアンダーカウルに左右両面にサポートナンバーを取り付けなければならない。貼り付け位置はアンダーカウル内で前後のタイヤの上端を結ぶ下部内とし、アンダーカウルの後端部を推奨位置とする。文字の色は白字か黒字とする。最低寸法は幅 60mm × 120mm とする。

ナンバープレート

数字の最低寸法は下記の通りとする。

フロントナンバー及び

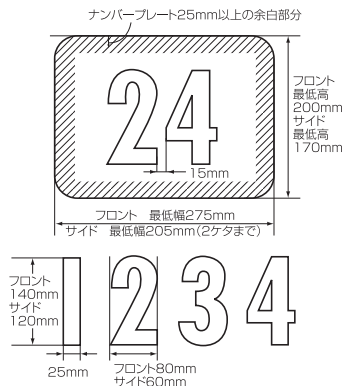
シートカウル上部の寸法は

最低高:	140mm
最低幅:	80mm
数字の最低の太さ:	25mm
数字間のスペース:	15mm

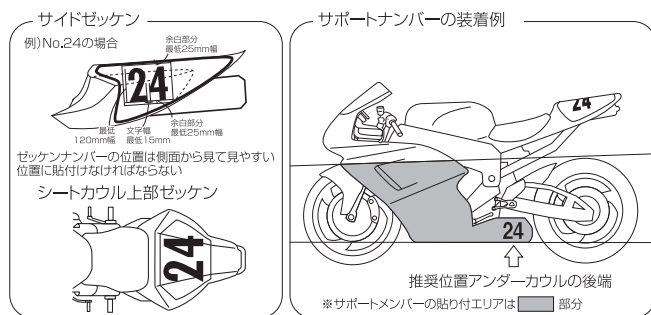
サイドナンバー及び

サポートナンバーの寸法は

最低高:	120mm
最低幅:	60mm
数字の最低の太さ:	25mm
数字間のスペース:	15mm



ゼッケン+サポートナンバーの装着例



2) 下記の部品には必ずワイヤーロックまたは割ピンのゆるみ止めをすること。

- 1) エンジンおよびミッションのドレンボルト
- 2) オイルフェラーキャップ
- 3) オイルレベルゲージ
- 4) オイルエレメント取付ボルト、ナット
- 5) 前後ホイールスピンドルおよびナット（ロックナットでも可能）。ワイヤーロックに使用するワイヤーは、微力な引力で切れるものであってはならず、0.6mm以上のステンレスワイヤーの使用を強く推奨する。車検の時に強度不十分と判定された場合は出走できない。
- 3) 前後ブレーキキャリパーの取付ボルトおよびフロントフォークオイルドレンボルトはワイヤーロックされていることが望ましい。

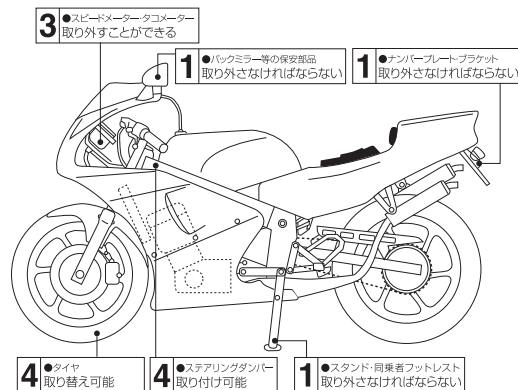
22. 取り外すことが出来る部品

- 1) 計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル
- 2) ホーン
- 3) タコメーター
- 4) スピードメーター
- 5) ラジエーターファンと配線
- 6) 2サイクル分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと取り外し後のカバー取り付け

23. 次の部品は禁止する。

- 1) フレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアームスピンドル、およびホイールスピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイールスピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。
- 2) オフロードタイヤ、モトクロスタイヤ、トライアルタイヤの使用。

24. 取り付け、取り替え等で特に気をつける項目

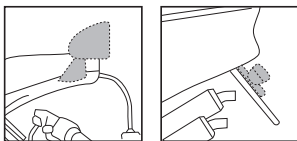


- 1) ステアリングダンパーの取り付けは、取り付けるための加工を含めて可能とする。
- 2) タイヤは一般公道用のタイヤのみ使用可能でレーシングスリックの使用を不可とする。
- 3) スクリーン、カウリング、シートカウルは安価なアフターマーケットのものに交換できるが外観が同じものに限られる。

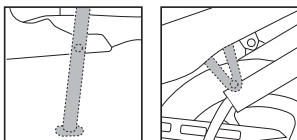
25. 取り外すのが望ましい部品

- 1) ライト
- 2) ウィンカー
- 3) リフレクター
- 4) 取り外さない場合は飛散防止のためにガムテープなどでレンズ全面に貼ること（テープは最低でも8点以上貼ること。レンズの端までテープをかけること）。

1 取り外さなければならない部品



- ・バックミラー
- ・ナンバープレートとブラケット
- ※ただし、ナンバープレートとブラケットが一体型の場合はブラケットを取り外すことができない。
- ・セーフティーバー／センタースタンド／サイドスタンド
- ・同乗者用フットレスト／グラブレール
- ・その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

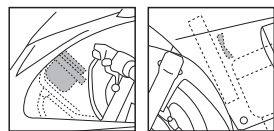


2 取り外すのが望ましい部品

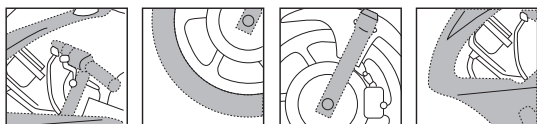
- ・ライト／ウィンカー／リフレクター
- ※取り外さない場合は飛散防止のためガムテープ等でレンズ全面を貼って下さい。

3 取り外すことができる部品

- ・計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル
- ・ホーン・タコメーター・スピードメーター
- ・ラジエーターファンと配線
- ・2サイクル分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと、取り外し後のカバー類の取り付け



4 取付・取替等で特に気を付ける項目



- ・ステアリングダンパーの取り付けは、取り付けるための加工を含めて可能。
- ・タイヤは一般公道用のタイヤのみ使用可能です。
- ・スクリーン、カウリング、シートカウルは安価なアフターマーケットのものに交換できるが、外観が同じものに限られる。

第4章 LOVE&PEACE RACE 特別車両規則

LP-MASTERSクラス

第1条 LP-MASTERS クラス車両規定

1. 出場車両
排気量 250cc 以上でホイールリムサイズが 16 インチ以上の車両とし、2025 LOVE&PEACE 車両規則に合致していなければならない。
2. 仕様
2025 LOVE&PEACE 車両規則を満たしていれば改造・変更は自由とする。車両に関して安全上問題が生じた場合は、車検長の判断とする。

オープンクラス

第2条 LP- オープンクラス、64- オープンクラス車両規定

1. 出場車両
排気量 250cc 以上でホイールリムサイズが 16 インチ以上の車両とし、第2章 LOVE&PEACE RACE 特別規則に合致していなければならない。
2. 仕様
2025 LOVE&PEACE 車両規則を満たしていれば改造・変更は自由とする。車両に関して安全上問題が生じた場合は、車検長の判断とする。

LP250

第3条 LP250 車両規定

1. LP250-S (シングル) クラス
 - 4st250cc未満で単気筒の車両
2. LP250-T (ツイン) クラス
 - 4st250cc 未満で 2 気筒の車両、4st300cc 未満で単気筒の車両
 - ただし以下の車両の参加を特別に認める。
 - ・ YAMAHA YZF-R3 ・ BMW G310R ・ KTM RC390

付 則

第1条 RIDING SPORT CUP LP-MASTERS SERIESランキング規定

1. 対象クラス

LP-MASTERS クラス

2. 順位の決定

- 1) 最終順位の決定は2025年シリーズによって得た特典の合計によって最高得点者をシリーズチャンピオンとする。
- 2) 複数のライダーが同一得点を得た場合は次の順序により決定する。
 - (1)上位順位獲得回数の多い者を上位とする。
 - (2)上記(1)で決定できない場合は、最終戦または最終戦に近い大会の上位者を上位とする。
 - (3)上記(2)でも決定できない場合は大会事務局にて決定する。

3. 得点基準

1) ポイント一覧表

- (1)ライダーに与えられる得点は決勝レースの順位に対して次の通りとする。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	20	17	15	13	11	10	9	8	7	6
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	…
得点	5	4	3	2	2	2	1	1	1	1

- (2)得点は完走者(ゴールでチェッカーを受けたもの)に与えられる。

2) ボーナスポイント表

ポールポジション	1
コースレコード (予選／決勝)	1
決勝レース完走 (チェッカーを受けた場合)	5
ファステストラップ	1

4. シリーズ賞

本規定に基づき決定された順位の優秀なライダーに対してその栄誉を讃え、次の賞が授与される。

シリーズ賞 1～3位

5. シリーズの成立

シリーズは、3戦中2戦以上開催した場合のみ成立をする。

第2条 LOVE&PEACEレース LP250シリーズランキング規定

1. 対象クラス

LP250クラス (LP250-S、LP250-T)

2. 順位の決定

- 1) 最終順位の決定は、2025年シリーズによって得た得点の合計によって最高得点者をシリーズチャンピオンとする。
- 2) 複数のライダーが同一得点を得た場合は次の順序により決定する。
 - (1)上位順位獲得回数の多い者を上位とする。
 - (2)上記(1)で決定できない場合は、最終戦または最終戦に近い大会の上位者を上位とする。
 - (3)上記(2)でも決定できない場合は大会事務局にて決定する。

3. 得点基準

1) ポイント一覧表

- (1)ライダーに与えられる得点は決勝レースの順位に対して次の通りとする。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	20	17	15	13	11	10	9	8	7	6
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	…
得点	5	4	3	2	2	2	1	1	1	1

- (2)得点は完走者(ゴールでチェッカーを受けたもの)に与えられる。

2) ボーナスポイント表

ポールポジション	1
コースレコード (予選／決勝)	1
決勝レース完走 (チェッカーを受けた場合)	5
ファステストラップ	1

4. シリーズ賞

本規定に基づき決定された順位の優秀なライダーに対してその栄誉を讃え、次の賞が授与される。

シリーズ賞 1位から3位まで

5. シリーズの成立

シリーズは、3戦中2戦以上開催した場合のみ成立をする。

各レース、エントリー最低台数は、4台以上とする。

第3条 2024シリーズランキング

1.LP-MASTERS クラスシリーズランキング

順位	ライダー名	R1 5/19	R2 7/14	R3 11/3	合計
1位	関 一正	27	26	23	76
2位	保坂 健	20	20	21	61
3位	磯田 泰平	18	18	15	51
4位	ダニ トシロサ	0	23	25	48
5位	樽澤 雄太	14	16	18	48
6位	野添 朗伸	15	15	12	42

2.LP250-S クラスシリーズランキング

順位	ライダー名	R1 5/19	R2 7/14	R3 11/3	合計
1位	三村 勝敏	22	22	20	64
2位	遠藤 浩一	20	18	18	56
3位	国井 涼翔	27	27	1	55
4位	古田 歩	18	16	0	34
5位	菅原 竜也	0	0	26	26
6位	土橋 亮一	0	0	22	22

3.LP250-T クラスシリーズランキング

順位	ライダー名	R1 5/19	R2 7/14	R3 11/3	合計
1位	大根田 隆	26	26	24	76
2位	須田 国男	23	23	25	71
3位	青山 和人	20	20	20	60
4位	門馬 仁貴	18	18	16	52
5位	星 健太郎	16	13	14	43
6位	藤原 昌芳	15	15	0	30

第4条 コースレコード

クラス	ライダー名	マシン	コースレコード	日付
LP-MASTERS	新垣 敏之	Y-YZF-R6	00:56.951	2010.11.7
LP-オープン	中野 錦四郎	S-GSX-R1000	00:58.303	2012.7.25
LP250	亀井 駿	H-CBR250RR	1:05.740	2016.5.15
NSF100	早乙女 忠	H-NSF100	1:20.043	2010.5.23
LP100	門馬 淳一	H-NC80	1:10.865	2007.11.4
LP250-S	ダニ トシロサ	K-Ninja250SL	1:07.185	2023.10.29
LP250-T	上原 大輝	H-CBR250RR	1:04.104	2020.7.26

MFJ 公認マークについて

ヘルメット(全種目)・レーシングスーツ(ロードレース)はMFJが公認したものでなければならない。

MFJの公認した製品には下記のMFJ公認マークが貼付されている。

※2017年度より新公認規格導入につき、新たに公認を取得した製品には、新マークが貼付される。

【ヘルメットMFJ公認マーク】

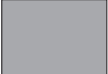


【レーシングスーツMFJ公認マーク】

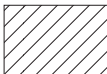
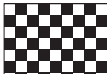


※MFJ公認マークが剥がれた場合や、新マークへの貼付は、公認を取得したメーカーが行う。その際の手順・方法等は全てメーカー側の意向で行われる。
なお、故意に公認マークを剥がしたり、損失した場合の貼付は認められない。

フラッグの種類と意味

	意 味	出されるケース	ライダーの対応
 国旗	競技開始	レースのスタート(通常シグナルで示す。レッドライト消灯)	スタート
 黄旗	危険信号	前方コース及びコースサイドに障害物がある場合やその他の危険な状態であることを示す。	ペースダウン 停止準備 追越禁止 注意事項として 急ブレーキ禁止
 緑旗	先に出された合図の解除 コースクリア	それまで出ていた合図の解除。コースクリア。タイムアタックの開始に出す場合もあるが、その場合はフラッグタワーで出す。レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。ピットレーン出口の開放、ウォームアップラップのスタート合図。	競技続行
 赤旗	レースまたはプラクティスの中断	大事故や天候の急変によりレースを中断する場合。	すべてのライダーは低速で最大限の慎重さと注意をもって、それぞれのピットに戻る。
 黒旗 サインボード	マシントラブルや規則違反等で走行を停止される	マシントラブルや危険な走行をするライダーを発見した場合。なおゼッケンはサインボードで示される。	サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインする。
 (P)文字の付されたサインボード	ペナルティー	フライングスタート等	サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインし一旦停止のペナルティを受ける。
 黒旗 オレンジボール／黒地にオレンジの円(直径40cm)の 	レース除外	指示されたゼッケンナンバーのライダーに対して彼のマシンが、彼もしくは他のライダーに危険をおよぼすような問題に見舞われている場合。	早急にコース上から退去しなければならない。
 白旗	旗の停止・予告 旗の振動:次のポストまでの間にレーサー以外の車両あり。	事故などでコース上に救急車、サービス車が出動している時。救急作業中。	前方注意 白旗表示位置から介入車両を追いつくまで他のライダーの追い越し禁止

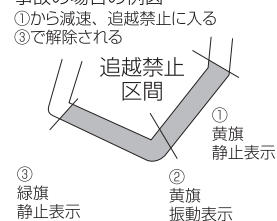
フラッグは振動提示される(一部を除く)

	意 味	出されるケース	ライダーの対応
 赤ストライプ 付黄旗	コース表面滑りやすい	コース上にオイルまたは水たまりがあり、路面が滑りやすい状態である時。コース上に落下物がある場合も含む。	前方注意
 青旗	後方よりペースの速いライダーが接近し追い越そうとしている。		指示されたライダーは後方を十分に確認し、急な進路変更をせず安全に進路をゆずる。
 チェッカー	トップがゴール時点から、レース終了時まで各ライダーに振られる。		コントロールライン通過後ス皮ードをダウンしてコースを1周の上コースアウトする。チェッカー後はすべて追越禁止となる。
 青旗+ チェッカー	・トップライダーはゴール。 ・トップライダーの直前を走るライダーはもう1周しなければならぬことを伝える。		
 白黒斜分割旗	旗の静止：前方にスロー走行車があることを示す。 旗の振動：スロー走行車と走行ラインが重なる場合。		
 黄旗+SCボード	セーフティーカー介入によるレースの非競技化(注意:減速・追い越しは禁止) 指示された車両以外はセーフティーカーの追い越し禁止。1列で走行すること。		
 レッドクロス (赤い斜め文字の入った白旗)	コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。 静止提示される。		

フラッグの意味と出され方

走行中のライダーに出されるフラッグは、オフィシャルからライダーへの唯一の意思伝達手段です。これを見落としたり、無視したりすれば走行中のライダー全体に重大な危険を招きます。「知らなかった」や「見落とし」では済まされません。フラッグの意味と出され方、その対応の仕方は必ず身につけていなければならない。

事故の場合の例図



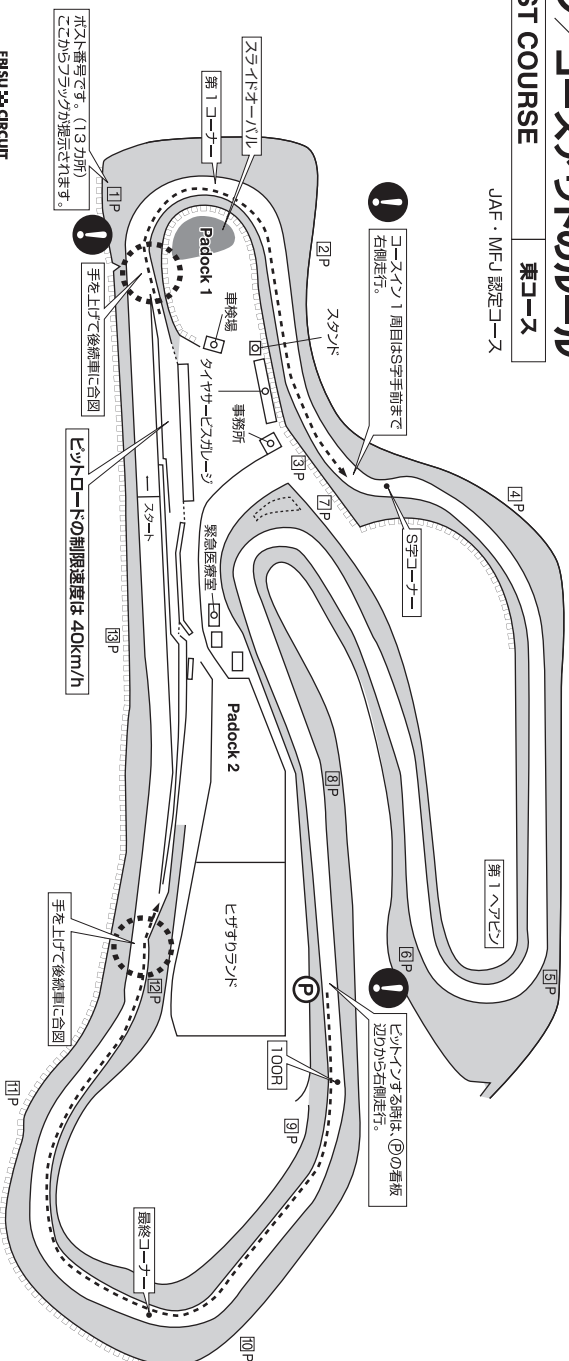
2025モータースポーツカレンダー

開催日	レースイベント	エキスポ パート	オープン	オープン 25	体験 クラス	LP MASTER	LP オープン	64 オープン	LP250	エントリー期間
4月27日(日)	LOVE&PEACE サークिटラン1st	○	○	○	○					3/27(木)～4/11(金)
5月11日(日)	LOVE&PEACE レース第1戦					○	○	○	○	4/11(金)～4/25(金)
6月21日(土)	LOVE&PEACE サークिटラン2nd	○	○	○	○					5/21(水)～6/5(木)
7月13日(日)	LOVE&PEACE レース第2戦					○	○	○	○	6/13(金)～6/27(金)
8月16日(土)	LOVE&PEACE サークिटラン3rd	○	○	○	○					7/16(水)～7/31(木)
10月18日(土)	LOVE&PEACE サークिटラン4th	○	○	○	○					9/18(木)～10/2(木)
11月2日(日)	LOVE&PEACE レース第3戦					○	○	○	○	10/2(木)～10/17(金)
参加料(保険料込み)		14,000円	11,000円	ESC 会員	14,000円	総会員	16,000円			

EAST COURSE

東コース

JAF・MFJ 認定コース

EBISU CIRCUIT

〒964-0088 福島県二本松市沢松倉1番地 TEL.0243-24-2972 FAX.0243-24-2936
URL <https://www.ebisu-circuit.com> e-mail info@ebisu-circuit.com

e-mail info@ebisu-circuit.com